



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2023～2024 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦～例会に出席しよう～



世界に希望を生み出そう

◆会長 岩本 正樹 ◆幹事 長瀬 栄二郎 ◆会報委員長 井ノ下 雄志 ◆会報担当 葛谷 嘉久

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1339 回	56 名	56 名	42 名	——	75.00%
前々回 1337 回	56 名	56 名	43 名	7 名	89.29%

- 点 鐘
  - ロータリーソング
  - 高山中央ロータリークラブ職業倫理基準
  - 会長の時間
- 我らの生業  
会長 岩本 正樹

皆さんこんにちは、体調は如何でしょうか。年末は何かと不摂生をする機会がたいへん多いと思いますが、皆さん健康には充分留意なされて、パワフルに色々な不摂生を楽しんで頂けたらと思います。



さて、先日 17、18 日に名古屋と多治見におきまして地区大会が開催され、事故もなく無事に行き来することが出来ました。18 日の大会 2 日目に参加して頂きました皆さん、又大会登録して頂きました皆さんありがとうございました。例によって夜の親睦会ではグタグタに酔っぱらって、また不摂生をさせていただきましたが、1 日かけたバスの旅ではロータリーの知識を深め、また、会員相互の信頼の絆が深められて充実した地区大会への参加ではなかったかと思えます。具体的な報告につきましては、本日この後、出席プログラム委員会担当の、地区大会出席報告を 5 名の皆さんにして頂きますので、大会 2 日目のお話につきましてはこの辺にさせて頂き、私の方からは 17 日に行われた大会 1 日目に関する報告をさせて頂きます。

大会 1 日目は名古屋観光ホテルにて開催されまして、出席要請に従い、私と長瀬幹事の 2 名で出席して参りました。まず、前回の例会でお話させて頂きました大会決議審議会が午後 2 時半から開催されました。審議会では 2 決議案について審議され、採決では我がクラブは両方賛成表を投じさせて頂き、無事 2 案ともほぼ満場一致で採択されましたので報告をさせて頂きます。この後 15 時半か

ら基調講演がございました。この基調講演では、韓国人で国際ロータリー理事を務めていらっしゃるユン・ヨンホ R I 会長代理が講演をされました。今年度 R I 会長のテーマやビジョン、今年度の現状報告などを話されておりましたが、スクリーンに映し出される日本語に翻訳された文章を読んでいるうちに、正直寝落ちてしまいました。

その後 R I 会長代理歓迎晩餐会に出席しまして午後 7 時半に閉会、高山に帰りました。今回の地区大会は 1 日目と 2 日目の開催地が異なりましたので、1 度高山に帰って朝からバスで出席者の皆さんと行動を共にしました。長瀬幹事には 2 日間ご苦労をお掛けしましたが、事故もなく無事に幹事としての一番大きな仕事をこなして頂いて、ありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

私からの出席報告は以上となりますが、地区大会を通して私なりに感じたことを少し話させて頂きます。今回の大会は様々な理由があつての事からでしょうか、金曜日と土曜日に行われ、しかも名古屋と多治見と場所も離れた地で開催された大会でございました。最初に案内に目を通した時は正直少し戸惑いましたが、よくよく考えてみますに、金曜日に行われた大会 1 日目の出席要請者は会長幹事の 2 人だけでよく、会員に出席要請が掛るのは大会 2 日目だけでありましたので、泊りがけで出掛ける必要もなく皆様方にお掛けする負担も少なく、出席する側からしてみれば、大変ありがたい日程でございました。これを主催者が出席する側の事を考えて、あえて計画されたとなれば、凄いいいやりのある配慮だなと思えました。2 日目最後の大懇親会でも、大会会場から別の会場にバスで移動して開かれましたが、各自入場し次第すぐに食事に箸を付けられるように準備されており、食事のクオリティについては賛否あると思いますが、出席者を待たせるというようなストレスを感じさせない設営はなかなか上手いなと思った次第

でした。

今回の大会 2 日間を通して、篠原ガバナーのリーダーシップの基、細かいアクシデントは多少ありましたが、裏方のスタッフも良く機能しておられ、予定時間が遅れるだとか、明らかに準備不足によるミスというのもしんど無く、そつなくこなしているなという印象でございました。全体を通して統制のとれたバランスの良い評価できる大会ではなかったかと私なりに思いました。地区大会の開催を経験した者から見ても、大会実行委員会の方々はしっかり準備されて 臨まれたんだなと思わせる地区大会でございました。という事で、本日の会長の時間は先日の地区大会について話させて頂きました。ありがとうございました。

### ● 幹事報告 幹事 長瀬 栄二郎

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・「Eテラスロータリークラブ」へのお誘い
- ・10 月クラブ増強報告書
- ・地区大会参加のお礼
- ・地区大会での落とし物・探し物
- ・クラブ研修リーダーセミナーのおしらせ  
日時：1 月 27 日（土）11：00～15：00  
会場：ホテルグランヴェール岐山  
登録料：7,000 円  
要請者：クラブ研修リーダー

◎ロータリー米山記念奨学会より

- ・ハイライトよねやま 284

○高山ロータリークラブより

- ・例会変更のお知らせ  
12 月 21 日（木）18：30～ 忘年例会 角正  
12 月 28 日（木）休会 定款により  
<高山市青少年育成市民会議より>  
・「第 40 回家庭の日スナップ写真展・第 32 回家庭の日図画ポスター展」  
出役の依頼

<会報>

- ・高山 R C

### ● 地区大会報告

出席/プログラム委員会

委員長 岩垣津 亘



### 「2023-2024 年度国際ロータリー第 2630 地区 地区大会」に出席して 藤野 直裕

1 1 月 1 8 日（土）8：00 に貸切バスにて高山市役所を出発しました。

多治見の「美濃焼和食割烹 二代目浪花」にて昼食をとり、「パロー文化ホール」に向かいました。

会場は R I 会長代理 ユン夫妻をはじめ、会員、韓国やタイ国からの来賓で満場でした。

千玄室大宗匠による「みんな一緒 和の心」と題した記念講演には引き込まれました。1945 年の京都南ロータリークラブ創設のチャーターメンバーとして入会され 100 歳を超えられてなお現役のロータリアンであり、はっきりとした語り口にも驚かされました。ロータリー活動をするとう長生きするという言葉が心に残りました。

2022 年～2023 年度表彰にて、わが高山中央ロータリークラブが表彰されました。

そして来年のホストクラブの名張ロータリークラブに大会の鍵が引き継がれました。

閉会後は「セラミックパーク MINO」に移動して大懇親会に参加しました。

18：00 に会場を後にして高山へ戻りました。雪がかなり降っておりまして。

初めて参加させていただき、感謝しております。ありがとうございました。



### 2023-2024 年度国際ロータリー第 2630 地区 地区大会について 中屋 出

2 回目の地区大会に参加しました。昨年は初めてだったので何が行われるのか分からないまま参加しましたが、今年は地区大会の意義は何か？という私なりのテーマで参加しました。

千玄室大宗匠の講演を聴いた皆さんはそれぞれに感じるこ

とがあったと思います。私も多くのことを感じましたが、「お茶は難しいものではありません。茶碗は丸い地球で、抹茶の緑は大地の緑です。そして茶碗の正面を少しずらすのは引くことです。謙虚さを持ちなさい。」という言葉が心に残りました。地球に感謝し、お互いに思いやるのが大事であると伝えたかったのだと感じました。

また初めて聞いた 3h プログラムについて理解することができました。人々の健康状態を改善し、

(Health)、飢餓を救済し、(Hunger)、人間的社会的発展を計る (Humanity) という内容でした。私自



身がロータリー活動を続けることで社会に貢献できるよう頑張りたいと感じました。

そして最後に、みんな一緒に、仲間、ロータリアンになって良かったと思えるよう奉仕を積み重ねてください。自分自身が幸せになり、そして周りを幸せにしてくださいとの言葉が深く胸に残りました。地区大会の後半では、表彰や次年度に向けての挨拶などがあり閉会から大懇親会へと移りましたが、今年度も高山中央クラブがRI表彰としてロータリー賞を受賞でき、岩本会長が代表して壇上で賞状を頂くことができとても嬉しく感じました。今回は地区大会の意義について考えるというテーマで参加しましたが、そこで感じたことは地区大会も例会である、ということでした。参加し、学び、親睦を深め、実践につなげることは、大きい小さいに関わらず同じなのだとわかりました。

## 地区大会ご報告

## 西 美紀

今回初めて地区大会に参加させていただき、地区内外、海外からのご来賓を多数お迎えして、盛大な大会だと驚きました。

当日は8時に高山を出発し、多治見の美濃焼和食割烹 二代目 浪花という美濃焼の器や装飾タイルを配した素敵なお店でした。小皿に少しずつ盛りだされたお料理はボリュームに圧倒される事なく朝10時半からの昼食でしたが、美味しくいただきました。

その後会場のパロー文化ホールに向かい開会を待ちました。

しばらく多治見の紹介映像が流れ、その後オープニングのヒップホップ、ストリート、コンテンポラリーなど地元のダンス教室の生徒さんたちによるダンスが賑やかに繰り広げられ、

サッカーワールドカップの表彰式のようなスモークの吹き出す壇上に華々しく篠原ガバナー夫妻が登場され、開会となりました。

ご来賓の紹介、挨拶、高木市長の挨拶、RI 会長のビデオメッセージ、山本地区代表幹事による地区現況報告、RI 会長代理のユン・ヨンホ氏による挨拶などが続きました。

休憩をはさみ、いよいよ楽しみにしていた千玄室大宗匠による 記念講演が始まりました。千大宗匠は100歳という高齢にもかかわらず、実にかくしゃくとして、ステージ中央まで歩き、みんな一緒に 和の心 というテーマのお話が始まりました。ロータリーとの出会いは、京都 JC に所属していた当時、京都南 RC の立ち上げを依頼され、JC の仲間4人とチャーターメンバーとなった事、当時厳しかった入会審査を柔軟なものにして、幅広い多様性のある会員を募った事など、現在の先駆けとなる会の運営をされたようです。その後京都 RC に移籍し、40歳で会長を務め、42歳でガバナーにな

られたというので、もうお若いころからご活躍されて、現在に至り、ロータリー歴は67年だそうです。当時は日本語に翻訳されたロータリーの手続き要覧は無く、英語の手続き要覧を渡されて、それを読みこなし、ロータリーとは、奉仕とは？自問自答しながら学ばれたようです。

現在も国連大使やユネスコの大使をされていて、世界を訪問する中で、お茶をたててふるまう事を通じて、平和の大切さ、和の心を伝えられています。お茶碗は丸く中のお抹茶は緑

これは、緑の地球を現していると解釈し、地球を大切に緑を守る事は、かけがえのない事であり、世界中で起きている戦争や無謀な開発により緑を失っているのは人間の権力を守ろうとする欲で愚かなことである。情をもって話し合う、歩み寄る事が大切である。お茶碗の正面を避けてお茶をいただくのは、謙虚さを現していて、ロータリアンの生き方 After you あなたの後で に相通じるものであると。

日本の終戦前に学徒動員で徴兵され、特攻隊に配属され、通常1年2か月で行う訓練をわずか8か月で終了し、来る日も来る日も当時の戦闘機で1000メートル地点から急降下の訓練を繰り返し、訓練で命を落とす訓練生も少なくなかったそうです。いよいよ、出動命令が下り、明日、行きの燃料と爆弾を積んで出発する事が決まった直前に出動停止命令が下り、同期の皆は全員出動し、千氏ただ一人を除いて帰らぬ人となった事。自分一人が生き残ってしまった事に罪悪感を抱えながら、千利休から15代目として、教えられてきた命は捨てるべき時が来ても、惜しみなさい。

その教えを思い出し、たった一人生き残った命捨てるべき時は今ではなかったのかと、命がある限り、自分の出来ることをやろうと思ったそうです。魂に響く講演でした。

最初から最後まで、演台に立ち、よどみなく話されるお姿に日々どのように毎日を積み重ねて来られたのかが垣間見える気がして、気持ちを引き締めました。

とても貴重な機会に出席できた事をありがたく思います。ありがとうございました。

## 地区大会に参加して

## 平林 英一

多治見パロー文化センターにて地区大会が行われました。1500人以上で大盛況といえると思います。当クラブの登録者は濃飛グループで一番多かったと思います。当日参加者も22名で良かったです。

記念講演は千玄室大宗匠、テーマは「みんな一緒に





和の心」100歳になられ、お話はこよなくロータリーを愛し、100%の出席を続けられていることもすごいですが、表現が生き生きと分かりやすく吸い込まれる感じでした。ロータリーを通じての生きがいそのものが感じ取れたお話しでした。続いて大会特別委員会の報告、大会決議採択があり、ロータリー表彰では高山中央ロータリークラブがRI表彰を受け取りました。連続ですからすごい事です。式典終了後移動して大懇親会に入りました。美味しい料理とお酒で特にウナギがとても美味しかったです。

### 2023-2024 年度地区大会に参加して

清水 幸平

11月17日～18日に開催され、高山中央ロータリーの一般会員は18日に参加しました。篠原ガバナーは、ロータリーの経験が豊富であり、大会の運営も順調で、挨拶もよかったですと思います。千玄室大宗匠の記念講演「みんな一緒 和の心」を楽しみにしていましたが、体の調子が悪くしっかり聞くことができず残念でした。ご自分の体験を通して考えられていることや、茶道を通してのお話は感銘させていただきました。



残念だったのは、RI 会長代理のお話が日本語でなく、理解できなかったことです。スクリーンで日本語表示はありましたが小さくて読めませんでした。やはり会長代理は日本語で話される方で、講演に臨場感があつたほうが良いと思いました。

ロータリー財団学友会代表スピーチの下垣真希さんのお話はドイツでの苦労話やその経験を生かしたお仕事のお話は興味深い内容でした。

大懇親会は、屋台で列を作ることなくゆっくりとお料理を食べれてよかったですし、うなぎの丼は美味しく戴くことができ最高でした。

三枝 祥一



### <ニコニコ BOX>

先日の区大会に参加された皆様ご苦労様でした。本日は地区大会の報告です。5名様よろしくお願ひします。  
岩垣津 亘

11/26 妻の誕生日にきれいな花をありがとうございました。夜は娘の孫と一緒に食事をしてケーキとコーヒーカップを貰い嬉しそうでした。熱いコーヒーでしたが暑い夜とはなりませんでした。  
松之木 映一

寒さに弱い年になりました。年々応えます。  
足立 常孝

先週は広島で民生委員全国大会で3日間。まち協で福井防災館で1日。真面目過ぎて風邪が治りません。  
三枝 祥一

本日は早退しますのでよろしくお願ひします。  
鷲塚 英雄

< 地区大会 >

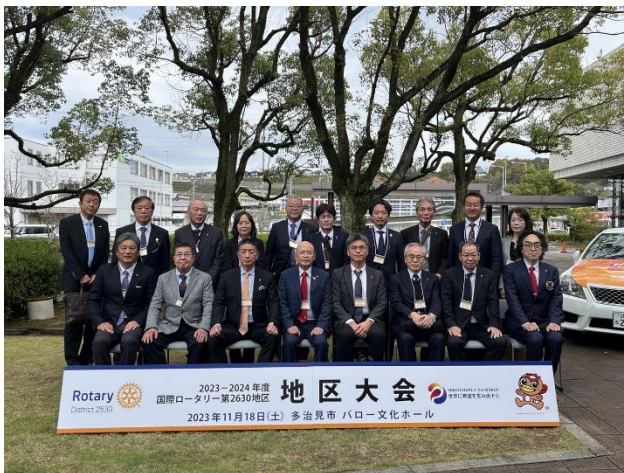
2023-2024 年度 国際ロータリー第 230 地区  
地区大会

日にち:2023 年 11 月 17 日(金)~18 日(土)

会場:多治見パロー文化センターおよび  
セラミックパーク MINO

登録者:31 名

参加者:21 名



RI 表彰「ロータリー賞」受賞



「Every Rotarian, Every Year」 & 「100%ロータリー財団寄付クラブ」表彰

